動く場をつくる
提案行動型
情報紙を
めざします

豊島の選択

【あしたのあなたへ】

小さくて大きい

ひとりの人間の
小さな行いが
どのくらい世界に
響いてゆくんだろう

ひとりの人間の
小さな手助けが
困っている人を笑顔にし
周りを明るくする

ひとり位と思って
誰かがゴミを捨てたなら
どんどん捨てられ
空気が乱れてゆく

ひとりの人間の
小さな行いが
世界に与える音楽を
耳をすまして聴いてみよう

ことば：Sizuka
http://ameblo.jp/poetcafe

毎月25日発行
株式会社：創発としま　発行人：小林俊史
〒171-0021 豊島区西池袋 3-29-11 ファーストビル 5 階
TEL：03-3954-0685　FAX：03-3954-0615
購読料：6ヶ月3000円　1年6000円
k-brains@xa2.so-net.ne.jp
http://toshifumi.jimdo.com/
題字：粕谷一希

公園は都市の価値を高める財産だ
ステージ設置から緑化整備へ
池袋西口の新たなステップが始まる！

池袋西口公園の緑化整備が始まる。区は今秋に開催の「全国都市緑化フェア」のサテライト会場としてトピアリー（緑の造形）を配置した整備案を採用した。9月の東京芸術劇場リニューアルオープン、10月の80周年記念式典、11月のセーフコミュニティアジア国際会議にあわせて劇場広場と呼べる発信を期待する。

野外ステージ、今年で設置から十年

池袋西口といえばイベント企画の多さで知られる。伝統の「ふくろ祭り」はもちろん、先週の「東京フラフェスタ」の盛況ぶりも有名。「東京よさこい」「ジャズフェス」「フォーク&カントリー」に「回遊美術館」や「にゅー盆踊り」など新イベントも続々増え、人気が定着している。

こうしたイベントを誘発しているのが、地元の熱意と総力で十年前に一千万円以上寄付を集めて完成させた野外ステージだ。かつては毎年、仮設のステージを作っていたが、常設ステージが整って賑わいのイベント広場化が実現した。

立教大生が通らない公園

「イベント中はスゴイ人！しかし普段は…」と言うのは大学生。「なんとなく居場所のない感じがあって、学生の多くは公園を意識していない」「地下街を通って駅との往復だけ、公園や街なかには出て行かない」といった声もある。地元も同様に普段の居場所としての認識は少ない。

「公園内には観賞すべき価値ある彫刻も多い。照明プランの刷新や案内サインなどで屋外美術ギャラリーにもなる」とは東京芸術劇場の高萩宏副館長。「池袋駅から駅前広場を通って西口公園は劇場への重要なメイン導線、そこから大学につながるストーリーが西口のイメージアップになる。学生の第二キャンパスになるような仕掛けが欲しい」と提言する。

実際に世界の都市の劇場前は、ニューヨーク「リンカーンセンター」、ロンドン「コヴェント・ガーデン」、パリ「ポンピドゥセンター」など様々な劇場広場的取り組みが定着し、観光客や学生の憩いと刺激の場となっているという。

西口公園の緑化の仕掛けは

全体像は下記イラストにあるイメージのようだ。トピアリー（緑の造形）は、西口駅前のふくろう「えんちゃん」のように人が手を掛け育ててゆくもので情操教育や福祉の面でも注目されている。（次号でトピアリーを特集予定）イベントの際には移動できるようコンテナ式可動レベルのサイズのものを予定しているとのこと。

このほか、グリーンウォールと呼ぶ情報発信板（イメージ図1）やグリーンスペースなるテーブルテント（イメージ図2）も配置する計画。快適な拠り所の環境を作るのが狙いだ。いずれも可動式を基本とする。

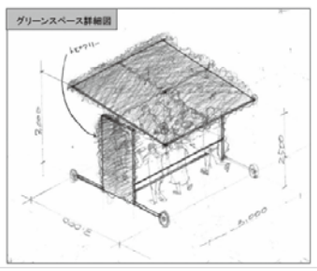

図2　グリーンスペース

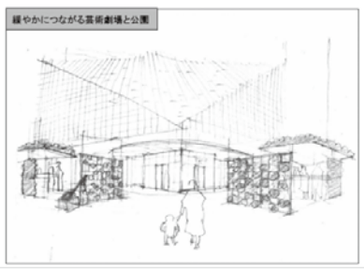

図1　グリーンウォール

「西口緑化イメージスケッチ」

地域参加・連携で次なるステップへ

屋外ステージは公園から多くの地域活性化の芽を生んだ。ランドマークとなる公園に多様な人が日常的に集い、来街者を交えた新たなコミュニティを形成することで「安心・安全」を生む次なるステップが待っている。

新宿歌舞伎町では、公園を舞台にして外部イベントを引き入れ、地域環境の協力金を地区運営の収入としている。秋葉原ではラッピング広告収入を広場運営に充てている。渋谷では通勤者や学生が自由に学べるシブヤ大学の参加者がまちの清掃や環境イベントを担っている。

今回、東京芸術劇場はリニューアルオープン企画として劇場前で屋外パフォーマンスを2か月展開するなど力を入れている。立教大学も地域連携教育「サービスラーニング」の導入を構想中だ。

地元の民間が力をあわせて公園の使い方を工夫するのがエリアマネジメント。その芽を出せる環境が備わりつつある。地域連携の次なるステップが始まろうとしている。

豊かな生活はカベの外側にある

甲斐徹郎
立教大学非常勤講師、ゼファー顧問、
(株)チームネット 代表取締役

セーフコミュニティ認証都市にふさわしい「公園」のカタチを考える。現代の都市でコミュニティがどんどん希薄になる理由は、『「便利」になると「関係」が省かれる』ということ。生活の空間が建物の内側で街との関わりを断っている社会なのだ。

つまり、コミュニティを再生させるためには壁の内側で完結している生活のスタイルを変えなくてはならない。

「公園」をあらためて見直してみよう。それでも心地よい場所を選んで人は集まっている。人は自然に自発的にその場を選んでいるのだ。場の環境が人の行為を誘発していることの証だろう。人の交流を生みだすためには、人が集いたくなる環境を、たたずみたくなる環境を、人と人とが出会う環境をつくりだせばいい。それが単なる「居場所」という記号的まちづくりではない「クオリアの形成」という概念によるまちづくりだ。

今回の西口公園の緑化構想は「劇場広場」をテーマに、人がその場に関わることの喜びや気持ちよさを感じることができる、必然的に集まろうとする場所づくりをコンセプトにしている。劇場広場のイメージは、例えばかつて滞在したシカゴ（米）の住宅地の中のショッピングモール。週末になると夜ごと開かれるコンサートに周りの住民たちがそれぞれ家の椅子を持ち寄って集まる、自分たちの街の豊かさを作り上げて楽しんでいる様子。そんな暮らし方をご覧になっている方も多いだろう。

大切なのは、皆がその場に関与している、生活の空間として使いこなしていくことだ。そうした意識が何かを生み出す。商業と暮らしを重ねるということにつながるエリアマネジメントの動機はそこにあるのだろう。

「Life itself！」まず劇場広場で体験を！

石森宏
NPOゼファー
池袋まちづくり理事長

池袋西口公園がトピアリー（装飾的に刈り込んだ木）ほか緑で飾られることになった。

9月1日の東京芸術劇場リニューアルオープンで、区制80周年記念、WHOセーフコミュニティ認証式、アジア会議等がこの場で開催される。元々世界的に著名な音楽、演劇等が催され、様々な人が訪れる場所である。この公園ではイベントも多く開催されるが一年を通せばその日数は少ない。日常の公園を気をする人は少ない。

池袋駅前にこんな広場（公園）が存在していることを今一度見直してみよう。都会でありながらコミュニティを大事にしているまち。人と人の関係は直接的触れるより、その間に植物や生きものが入り込むとより上手くいくものである。「人+植物+人」はその関係性が滑らかに成長することを経験的に知ってきた。緑は触媒作用を持っている。農園（熊谷市に1ha弱の畑、池袋の人たちが週末作業）や池袋西口駅前広場のモザイカルチャーや花壇手入れは学生から高齢者まで携わる人を自然に増殖させる。

自らが生長する植物をみんなで手入れをして、コミュニティを深く広げていく。9月に「全国都市緑化フェアTOKYO」（緑化の国体のような催し）も開催され、池袋もそのサテライト会場となる。池袋では千載一遇のチャンスといってもいい。

『豊島の選択』は人とテーマを発信する情報誌です。
定期購読でお届けしています。お申し込みは上記あるいはHPでお願いします。

世界ツアーで大旋風
あのコワかわキャラが
やってくる

東京芸術劇場オープニングウイーク
何かが起こる！始まる！変わる！

子どもたちに大人気！
都会に紛れ込んだ
『ひつじ』

記念公演
（シアターイースト[小ホール]）
9月1日（土）～9日（日）
『ショックヘッド・ピーター
～よいこのえほん～』
ハンガリーから日本初上陸

photos by 曳野若菜

photos by 田中亜紀

観覧無料
（ロワー広場　[劇場アトリウム]）
9月1日（土）～5日（水）
あの『ひつじ』が1年ぶりに劇場に
“放牧”?…劇団コープス（カナダ）

劇場前はチャレンジ広場！
パフォーマンスが
劇場からあふれだす

改修後イメージ図

	会場	9月1日土	2日日	3日月	4日火	5日水	6日木	7日金	8日土	9日日
ショックヘッド・ピーター	シアターイースト	18:00	15:00	休演	18:30	18:30	14:00 18:00	18:30	14:00 18:00	12:00
ひつじ	ロワー広場	17:15	14:15	休演	17:45	17:45				

チケットについて：
東京芸術劇場ボックスオフィス　TEL.03-5391-3010

エントランス前広場
9月～10月
中国雑技芸術団、ジャグリングなど
体験型パフォーマンスあり!?

雑誌・PR誌・書籍・自分史・社内報・社史まで
編集・制作のことなら当社におまかせ下さい！

豊島区をこよなく愛す著者が前著『文化によるまちづくりで財政赤字が消えた』に引き続き書き下ろした第二弾！！

財政破綻に瀕した自治体の、これは起死回生のドラマである。外側からは知り得ない、環境庁舎建設のカラクリなどを含め、面白く読んだ。
福地茂雄氏（元NHK 会長／アサヒグループホールディングス株式会社相談役／新国立劇場運営財団理事長／東京芸術劇場館長）推薦！

『財政支出ゼロで220億円の新庁舎を建てる』溝口禎三・著　めるくまーる刊

株式会社 風日舎（ふうじつしゃ）
〒169-0075　新宿区高田馬場 1-23-7　創信ビル 3 F（ご相談窓口担当：村井）
☎03-5292-6543
eメール：murai@fuujitsusha.co.jp